

東京家政大学附属女子中学校・高等学校 校長就任のご挨拶



WEB

未来への一步をとともに 校長 荒糶 和成

校長就任にあたり、あらためて学園の歴史にふれ、大学開学当初の学長であられた青木誠四郎先生の著書『若い女性』を読みました。そこに記された生活信条「愛情・勤勉・聡明」は、今も家政の教育を支える確かな土台となっています。

その中で最初に掲げられている「愛情」とは、相手を思いやり、一人ひとりの尊厳を大切に作る姿勢だと、私は考えています。青木先生は、ただ愛情を心にとどめているだけでは十分ではないとも述べられています。思いやりは行動としてあらわれ、相手のために尽くす「勤勉」へとつながっていく。そしてさらに、物事を正しく見つめ、よく考え、自ら判断する「聡明さ」があってこそ、人は自分の進む道を自ら考え、切りひらいていくことができるのです。

愛情、勤勉、聡明——この三つはそれぞれ独立したものではなく、支え合いながら一つの生き方を形づくるものです。自らを律しながらも他者を思いやり、行動し、考え続ける。その姿こそが、本学の建学の精神である「自主自律」へとつながっていくのだと思います。

学校は、多くの人との関わりの中で人が育つ場所です。生徒、教職員、保護者、そして卒業生の皆さまも、この学園でつながり合い、互いを尊重し、安心して挑戦できる環境を育むことで、学びはより豊かなものになりま



す。安心できる場所があるからこそ、人は自分らしくいられます。そして、自分らしくいられるからこそ、新たな一步を踏み出す勇気が生まれます。学園が、生徒一人ひとりにとっての「ホーム」となり、挑戦を支える場であり続けたいと願っています。

学校の文化は、誰か一人が形づくるのではなく、そこに集う一人ひとりの日々の小さな積み重ねによって育まれていきます。これからも「愛情・勤勉・聡明」を大切にしながら、共に学び、共に支え合い、一人ひとりがそれぞれの歩幅で未来への一步を踏み出せる学園を、皆さまとともに築いてまいりたいと思います。

Create My Future

未来創造プログラム

中高では緑豊かで広大なキャンパスの魅力を最大限に生かした中高大連携教育「未来創造プログラム」に取り組みんでいます。

大学の学びについて理解を深め、進学を考える際に役立つ体験ができる大学教員による「模擬授業」、大学生生活の情報を見役大学生から直接得ることが出来る「Uni.Cafe」、造形表現学科主催「ART CAMP」での「附属高校生プロジェクト」、教育福祉学科宮地准教授による中学生向け「ボランティア入門講座」、リハビリテーション学科による「高大接続プログラム」、教職センター・地域連携推進センター主催「放課後カフェ」等、新たにご提案いただいた企画も増え、現在進行形で連携が進んでいます。様々な企画は生徒からも好評で、ワンキャンパスであるからこそできる教育です。「ヴァンサンカン・プラン」を中心に、「未来創造プログラム」「未来ひろがる体験」「未来実現プログラム」の3つを「Kasei Learning Compass」として進路実現（未来の私）を目指します。

- 1 家政大学模擬授業「英語コミュニケーション 学科」
- 2 教育福祉学科 宮地准教授による中学生向け「ボランティア入門講座」
- 3 造形表現学科主催「ART CAMP」での「附属高校生プロジェクト」

